

# 愛知の新しい環境共育のしくみ 「あいち共育モデル」の提案

2008年09月6日

教育チーム

堀田 博嗣

櫻井 恵介

半谷 まい

佐藤 裕史

チューター

雪田 和人

後藤 時政

# 現在の環境教育に関する疑問

- 現在行われている学校教育や、社会人向けの講座の中で、「**環境教育**」をテーマにした講座が開催されているが、自発的な環境保全活動に結びついていくかどうか疑わしい。
- 2020年の未来社会では、一人ひとりが環境に対する意識を持ち、自ら考え行動することが求められる。  
(**経済を優先した価値ではなく、環境を優先した価値**)

いままでの教育の仕方、内容に問題があると感じた。

# 現在の学校の環境教育

【学習指導要領の抜粋】

環境省 & 文部科学省  
E C O 学習ライブラリーより

	社会(地理・歴史・公民)	理科	生活
小学校	(3・4年生) ・水・電気・ガスの確保や廃棄物の処理 (5年生) ・公害と健康、生活環境 ・森林資源の働き	・野外に出がけ、地域の自然と親しむ、自然環境を大切にする心や態度を育成する(6年生) ・生物と周囲の環境との関わり	(1・2年生) ・自分と身近な植物 & 動物など自然との関わりに関心を持ち、大切にする
中学校	(地理的分野) ・環境やエネルギーの課題 (公民的分野) ・公害防止など環境保全 ・地球環境、資源・エネルギー問題の課題学習	(第1分野) ・環境との調和を図った科学技術の発展の必要性 ・水力・火力・原子力など、エネルギーの有効利用の大切さ (第2分野) ・自然環境は自然界とのつりあいの上に成立していること、自然環境保全の重要性の認識	
高等学校	(地理A、地理B) ・環境、資源・エネルギーなど地球的課題 (現代社会、政治経済) ・公害の防止と環境保全	・自然環境の保全に関する態度の育成 ・環境問題や科学技術の進歩と人間生活 (理科総合A) ・化石燃料と原子力、太陽エネルギー等の特質・有限性 (理科総合B) ・水・大気汚染、地球温暖化、生物多様性	

- ・日常生活につなげる教育が不十分である
- ・教師 生徒の指導(一方通行の教育になりがち)

# 現在の社会人の環境教育

## 企業内での環境教育

- ・座学がメインで、広く浅く知識をつけるには有効だが、継続的なものではない。
- ・自社に関わりのある狭い分野の環境教育になりがちである。

## 企業外の環境教育

- ・興味のある人は積極的に参加しているが、それ以外の人を巻き込むことは難しい。
- ・講座やセミナーの情報が散乱していて、得られにくい。

**教育の機会を得られる人は限定的で、あらゆる人を巻き込むには不十分である。**

## 環境教育の問題点まとめ

日常生活につなげる教育の強化が必要

教師 生徒の指導（一方通行の教育）

多くの人を巻き込むための仕組みが必要

日常生活の中で、多くの人  
共に考え育つ仕組みが必要

## 消費は未来への投票

永く使う、エネルギーの自立、  
必要なものを必要なだけ

## ゴミは資源

分ける、生かす

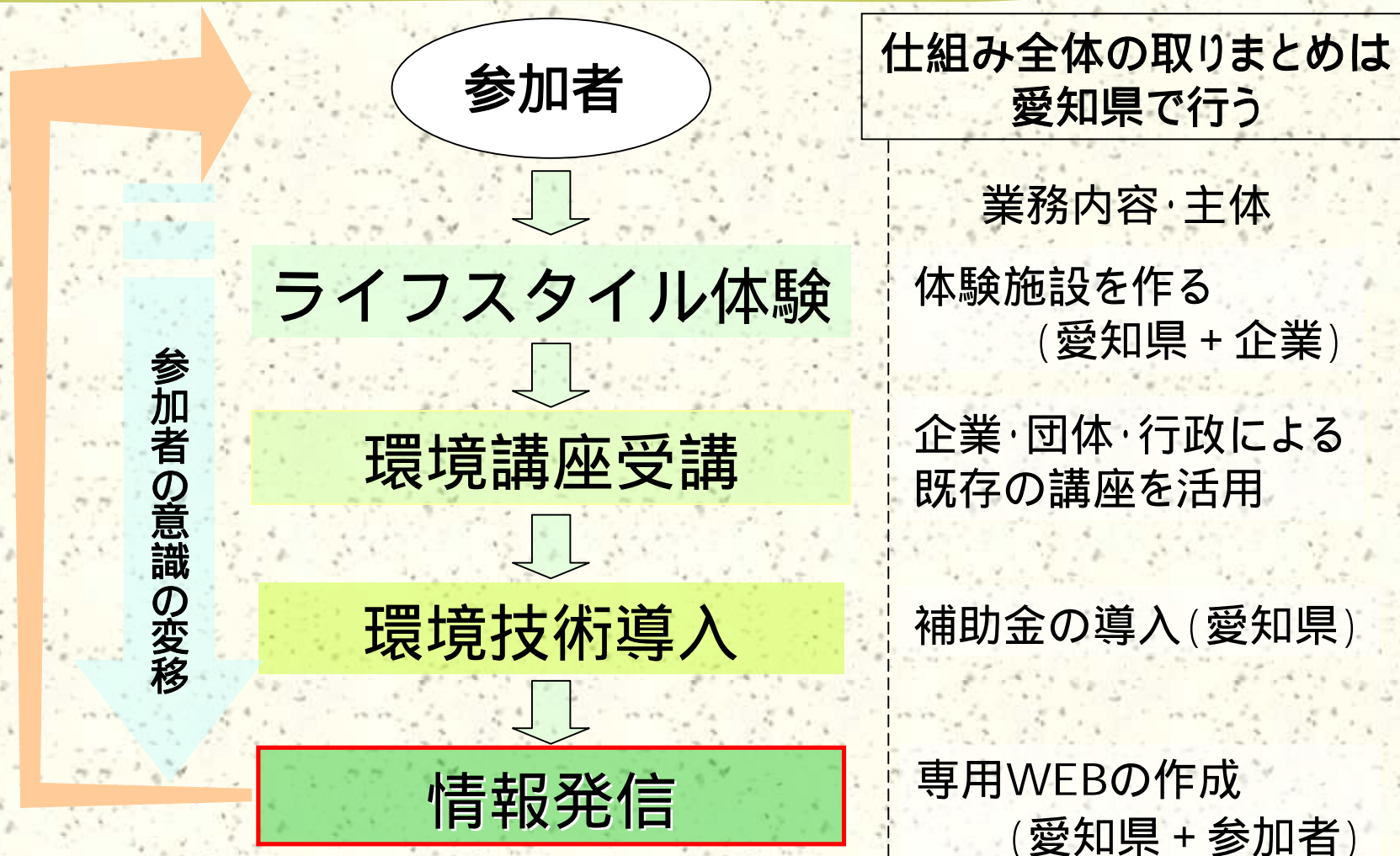
## 自発性の連鎖

自立(律)と協働

## あいち共育モデルの提案

愛知県民へ向けた、環境コンシャスなライフスタイルを打ち出し、広める仕組み、**「あいち共育モデル」**を提案。

# あいち共育モデル



参加者が情報発信し、多くの人に  
影響を与える(新しい参加者を呼び込む)



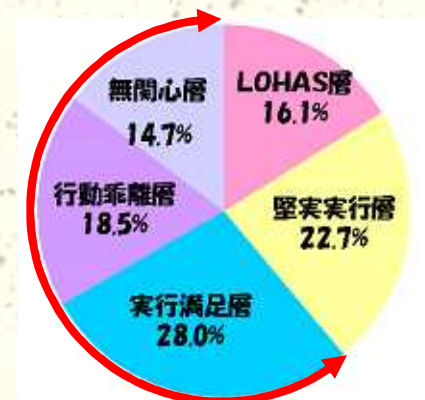
# 体験施設（案）

## 目的

楽しく過ごしながら環境問題にあまり関心のない人が参加したくなる場所を提供し、より多くの人に環境配慮行動を促す。  
 （右図の赤矢印部分の層をターゲットとする）

## 施設のコンセプト

- ・愛知県内の施設を利用。モリコロパーク、愛知健康の森などを想定  
 （できるだけ既存の施設を使用する）
- ・エコプロダクツ展、キッズニアなどのような楽しさを追求
- ・地元企業中心に協賛してもらい、県の費用負担は最小限度に抑える
  - 出展企業メリット
    - ・製品アピール、販売促進
    - ・実験的な販売等のトライ
    - ・企業イメージアップ など



### LOHAS層:

関心は高い。環境配慮行動を起こす。

### 堅実実行層:

関心は平均より高い。取組みやすい行動は実行する。

### 実行満足層:

関心は平均レベル。環境配慮だけでは不十分で、メリットが明確であることが購入の動機付けとなる。

### 行動乖離層:

関心は平均に近い。環境配慮行動を実施しようとする意識も見られるが、実際の行動にはつながらない。

### 無関心層:

関心は低い。価格を重視する姿勢が非常に強い。

# 体験施設イメージ

10/16

## 展示体験

最新環境設備・機器の展示、体験

- ・エコキュート、太陽光発電、風力発電…
- ・長持ち、修理しながら使える製品
- ・廃品利用製品

エコキュート



燃料電池



## 商業施設

地産地消

- ・地元の食材、製品の販売と  
フードマイレージ(CO2量)表示
- ・販売品を使ったレストラン
  - ・陶磁器の食器(長持ち、愛着)
  - ・食べ残しは生ゴミ処理機で堆肥化  
農家へ配布

フードマイレージ表示



## 宿泊体験

省エネルギー住宅の展示と宿泊体験

- ・光熱費ゼロの住宅
- ・…等、ハウスメーカーの住宅中心

省エネ住宅



# あいち共育モデル 普及のしくみ <sup>11/16</sup>

補助金を導入することで環境技術を普及し、それを機に環境コンシャスなライフスタイルへの転換ができるようなしくみ

## 補助金獲得の条件は？

ライフスタイル体験施設での体験 + 環境講座の受講 (1講座)

環境講座は企業が導入する環境技術に関わる講座や行政や民間が行なっている既存の環境講座を利用

### 環境講座メニュー

- ・ 環境配慮機器の紹介、導入するメリット、意義を知る場  
例) 森の役割、間伐体験、エネルギー問題
- ・ 実際の生活に活かすことができる体験講座  
例) 食料自給率、地産地消、ゴミ問題

# あいち共育モデル 普及のしくみ2

12/16

補助金をもらい、環境技術を導入したら・・・

- ・ 導入後の状況を発表する。
- ・ その他、消費・廃棄に関するレポートを作成する。  
月ごとに専用webを使って報告

- ・ 我が家の環境報告書を作成する。  
1年に1回、専用webを使って作成

- ・ 経験をライフスタイル体験施設や企業への  
フィードバックすることに協力する。

以上を3年間にわたり必ず行なってもらう！

# 想定する環境技術と補助金

エネルギー節約ができる家庭用機器例

	補助対象設備	設置状況	標準設置費用	補助金額
1	太陽光発電システム	単独	200万円	20万円
2	ヒートポンプ(エコキュート)	単独	80万円	5万円
3	ガスエンジン(エコウィル)	単独	80万円	5万円
4	太陽光発電 + エコキュート	同時	300万円	30万円
5	太陽光発電 + エコウィル	同時	300万円	30万円
6	太陽光温水設備	単独	150万円	15万円
7	風力発電設備	単独	200万円	20万円
8	低公害自動車	単独	300万円	30万円
9	ペレットストーブ	単独	40万円	2万円

年1回「環境報告書」の提出と企業やあいちモデルへのフィードバックをすることにより、3万円/年の礼金

## あいちモデルのポイント

- 今まで行なわれてきた「環境教育」とは異なり、実際の生活を通して気付きを得て、自主的に行動する人材を育てる。(人材育成)
- 単なる補助金のばら蒔きで終わっていた環境技術の導入を、導入を機に行動を促すようなしくみを提供する。(波及効果)
- 環境技術や商品・サービスの普及、PR、発展の後押しをする。(産業・地域振興)
- 参加者の実体験に基づいた情報の発信、情報の相互利用。(情報発信)

## 実現可能性について

- ✦ 施設を作る場合の予算は、愛知県環境対策予算とする。
- ✦ 施設を新設する場合は、モリコロパークやあいち健康の森を想定。
- ✦ 施設に展示する製品、サービスの選定はグリーン購入法や各種エコラベル等を参考とする。
- ✦ 補助金の導入にあたっては、参加者が情報発信を行うことを前提とするが、そのシステムの作成などの補助は、愛知県で行う。
- ✦ 環境講座は既存の講座(NPOなど)を統合し、活用する。
- ✦ 体験施設の運営は、愛知県またはNPO等への業務委託、もしくは、キッザニアなどのように民間へ委託する。

# 波及効果

16 / 16